

SDGs とは?

「Sustainable Development Goals」(持続可能な開発目標)の略称です。SDGs(エス・ディー・ジーズ)と読みます。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた国際社会共通の目標です。ESDもこれらの実現をめざし進めます。



大切なものを未来へ引きつぐために 私たちができることを考えよう

SDGs 「世界を変えるための17の目標」

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

寝屋鉢かづき学園

寝屋川市立第十中学校

〒572-0003 大阪府寝屋川市成田南町20番7号

電話 (072) 835-9296
FAX (072) 834-6993

第十中学校は平成23年1月にユネスコスクールとして認定されました。ユネスコスクールはユネスコ憲章に示されたユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校で、ESDの推進拠点とも位置付けられています。

寝屋川市立第十中学校は平成29年度・平成30年度
国立教育政策研究所ESD教育課程研究指定校に指定されました

平成30年度《第9回 ESD大賞 中学校賞》を受賞しました



Education for Sustainable Development

持続可能な開発のための教育

グローバル化の進展や人工知能(AI)の飛躍的な進化など、社会の加速的な変化を受け止め、将来の予測が難しい社会の中でも、生徒には広い視野を持ち、志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を育まねばなりません。

ESDとは「持続可能な開発のための教育」と訳されています。今、世界では環境、貧困、人権、平和など様々な問題がありますが、ESDでは、現代社会の課題を自分の問題としてとらえ、身近なことから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を育む学習や活動です。

ESDによって育む能力・態度と3つのキーワード

「持続可能な社会づくりに関わる課題を見出し、それらを解決するために必要な能力や態度を身に付ける」ことを通して、持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観を養う。

ESDで重視する能力・態度

- ①批判的に考える力
- ②未来像を予測して計画を立てる力
- ③多面的・総合的に考える力
- ④コミュニケーションを行う力
- ⑤他者と協力する態度
- ⑥つながりを尊重する態度
- ⑦進んで参加する態度

Care “自分を大切に”
(気づかい)

Communication “人を大切に”
(つながり)

Action “未来を大切に”
(行動)

ESDで目指す生徒像

自分を大切に ひとを大切に 未来を大切にできる生徒

- 身の回りの出来事を様々な側面や立場から考えることのできる生徒 (Care)
- 仲間と協力できる生徒 (Communication)
- 地域の一員として進んで参加できる生徒 (Action)

第十中学校では、総合的な学習の時間を中心に、これまで取り組んできたことをESDの視点で捉え直し、さまざまな教科での学習と関連づけながら取り組んでいます。

学校教育目標

深く考え 心豊かな 逞しい人